



輸送機工業株式会社 殿
東京営業所

閉歇車第247/号
平成6年8月5日
関東運輸局整備部長

試作
(改造) 概要説明書

改造自動車等審査結果通知書

指示事項: 本試作は製造番号 9851 の1台限りとすること。
本車両は車両総重量、軸重、制動力、制動距離について基準の緩和を必要とすること。
けん引車を定めたときは走行性能と制動能力の計算書、走行軌跡及び
エアの補給の検討書を提出すること。
けん引車はキャブ・エンジン・W-CM540GNT(第5輪 18トン)で検討した。

主要諸元比較表

(改造、試作、組立)

届出者の 氏名又は名称	輸送機工業株式会社 東京営業所				種別用途 普通(被けん引8輪)貨物			
	項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
主 要 諸 元	車両重量 kg	12500	—	—	車名	2ノキ	—	—
	乗車定員 人	—	—	—	型式	YDT3339GA	—	—
	最大積載量 kg	32000	—	—	形状	セミトレー	—	—
	車両総重量 kg	—	44500	≤28 t	原動機の型式	—	—	—
	長さ m	11.990	≤12	—	総排気量 ℓ	—	—	—
	幅 m	2.995	≤2.5	—	燃料の種類	(第5輪から)	—	—
	高さ m	1.690	≤3.8	—	軸距 m	9.190+1.300=10.490	—	—
	室内又は 荷台の内 側の寸法	長さ m	6.000	—	最小回転半径 m	※ 11.80	—	≤12
	高さ	2.995	—	—	オーバハング ボデー後端ま で m	—	1.050	≤④・⑤・⑥ L ₀ (5.2450)
	高さ	—	—	—	荷台オフセット m	4.390	—	—
諸 元	空車時	前	(第5輪) 3700	—	タイヤ	前前	8.25R20-14PR	—
	荷重分布	前	4400	—	サイズ	後後	8.25R20-14PR	—
	積車時	前	(第5輪) 17980	≤10 t	積車時	前	—	—
	荷重分布	前	13260	≤10 t	タイヤ	前	※ 73.0	≤100
	積載時前輪 荷重割合 %	後	13260	()	荷重割合 %	後	※ 73.0	—
	積載時前輪 荷重割合 %	前	—	≥ 18	最大安定	左	※ 58	一般⑤ (30)
	傾斜角度	後	—	—	傾斜角度	右	※ 58	—
	軸距 m	前	1.580	—	—	—	—	—
	軸距 m	後	1.580	—	—	—	—	—
	制動力	踏力×kg 35 km/h 10.13 m	—	—	車軸強度	σ _B /σ = 5200 / 994.0 × 2.5 = 2.09 > 1.6	—	—
能力 強度 等 検 討	空気圧 5.0kg/cm ²	—	—	—	車軸強度	" = 4600 / 340 × 2.5 = 5.41 > "	—	—
	推回転数 N _c /N =	—	—	—	換綴装置	" =	—	—
	進軸強度 σ _B /σ =	—	—	—	懸架装置	" = 4600 / 423 × 2.5 = 4.34 > "	—	—
	—	—	—	—	制動装置	" = 5200 / 1833 = 2.83 > "	—	—
	—	—	—	—	連結装置	" = 9500 / 3838 = 2.47 > "	—	—

注1. 主要諸元比較表右肩()内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。
注2. 能力強度等検討欄に必要としないものは、省略したものは×を記入すること。
※印はキャブ・エンジン W-CM540GNTとの連結時を示す。

目 的	本トレーラーは分割不可能な重量物品の安全輸送を目的として製作されたものである。
車 体	本トレーラーの形状は2軸16輪中低床式セミトレーラーである。 車体前部はグースネック状に高く荷台は低くし安全性を高めた構造である。
軸 距	重量配分の適正化及び走行安定性を考慮し0.190+1.300=10.490mに設定する。
輪 距	走行安定性を考慮し1.580 mに設定する。
原 動 機	
動力伝達装置	
走 行 装 置	車軸はフレーム後部下面に位置し、ウォーキングビーム両端部に取付けられる。 車輪は2軸8輪で複輪とし、リムとタイヤからなりその内側にブレーキドラムを装着する。
操 縦 装 置	
制 動 装 置	空気制動であって主制動と駐車制動よりなっている。主制動は内部拡張式による全車輪制動で非常時には自動的に制動できる構造である。駐車制動はマキシチャンバーに内蔵されたスプリングを使用し空気を排出してスプリングの力により制動を得る装置である。
懸 架 装 置	フレーム後部下面にブラケットにて支持されたトラニオン軸を中心として上下に揺動するウォーキングビームを取付けて、このウォーキングビームの両端部に車軸を取付けた構造である。
連 結 装 置	グースネック下面にトラクタ第5輪と結合する連結用キングピン(2")を取付ける。 キングピンはJIS規格(D6602)に準じて製作されたものである。
車 わ く	フレームは2本のI型断面の中梁を前後に貫通させ溝形鋼の側梁及び横梁を溶接にて強固に結合した梯子型フレームである。
そ の 他	1. 保安基準に基づいた電気装置を備える。 2. 第5輪後方に補助脚を取付ける。 3. けん引車:キャブ・エンジン W-CM540GNT, 4. 大型後部反射器は、自LR-6, 1個 取付。

Y 48289